

「教室の次は、工場へ。」

高校生が地域のものづくり企業から学ぶ

新たなキャリア教育がスタート



泉佐野市、貝塚市、大阪府立佐野工科高等学校及び泉州オープンファクトリーの4者は、令和8年8月6日に「地域一体型のキャリア教育による人材育成及び産業振興に関する連携協定」を締結しました。

本協定は、高校生が実際の製造現場において地域で活躍する企業の技術や仕事に直接触れることで「ものづくりの魅力」と「働くこと」をリアルに学ぶ機会をつくるものです。

■「ものづくり」を、もっと身近に。

学校の授業だけではなかなか見ることのできない、実際の工場。

そこで働く人の技術、仕事への思い、製品が生まれるまでの工程――。

生徒自身が「見て」「触れて」「体験する」ことで、地域産業への理解を深め、自分自身の将来のキャリアを考えるきっかけをつくります。

■目指すのは、「地域で学び、地域を知り、地域の未来をつくる」こと

地域の企業を「働く場所」としてだけでなく、生徒が将来を考えるための“学びの場”として活用します。

地域のものづくりを知ることが、将来の仕事を知ることにつながる。そして、生徒たちが地域の企業や産業に魅力を感じることが、将来の地域産業を支える人材の育成にもつながります。

4者は、本協定を通じて、未来のものづくりを支える担い手の育成と地域経済の活性化を目指します。

■具体的な取組（授業連携）

- 〔対象〕 大阪府立佐野工科高等学校 生徒
- 〔場所〕 泉州エリアの参画企業各工場
- 〔時期〕 令和9年2月頃を予定
- 〔内容〕 工場見学および技術指導・ものづくりワークショップ・就業体験 等

【報道機関の皆様へ】

「高校生が実際の製造現場で何を学ぶのか」

「地域企業と学校がどのようにつながるのか」

「地域のものづくりを次世代へどうつなぐのか」

――こうした“地域の未来をつくる取り組み”として、ぜひ取材・報道をご検討ください。

【報道関係者お問い合わせ先】

・泉佐野市生活産業部まちの活性課 担当：今西・岡屋 TEL：072-469-3131

E-mail：kankou@city.izumisano.lg.jp